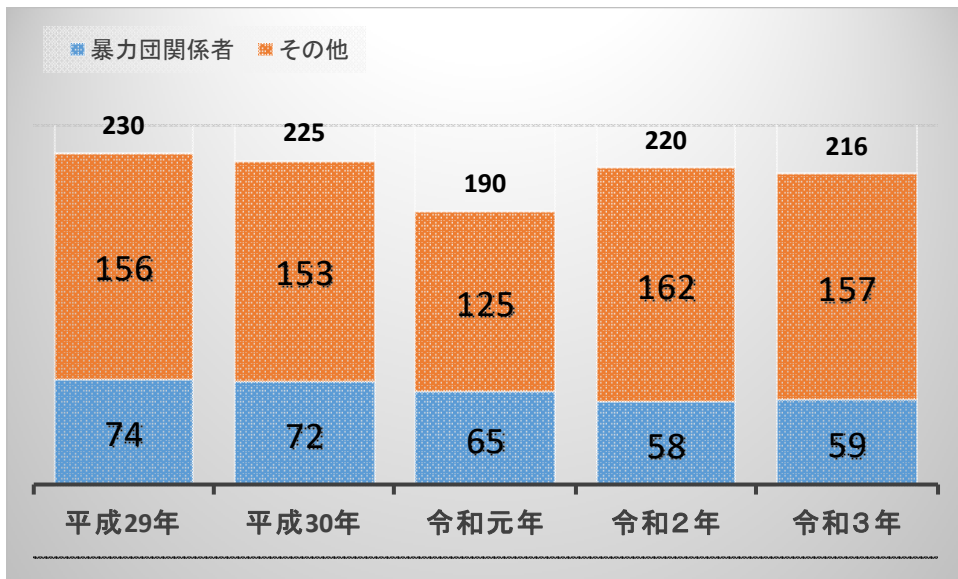


県内の薬物情勢

薬物検挙人員の推移



- 奈良県における薬物事犯の検挙人員は、ここ数年は200人前後で推移しています。
- 令和3年中の薬物事犯の検挙人員は、216人（前年比－4人）であり、男女別では、男性が177人、女性が39人となっています。

令和3年中の薬物事犯検挙状況

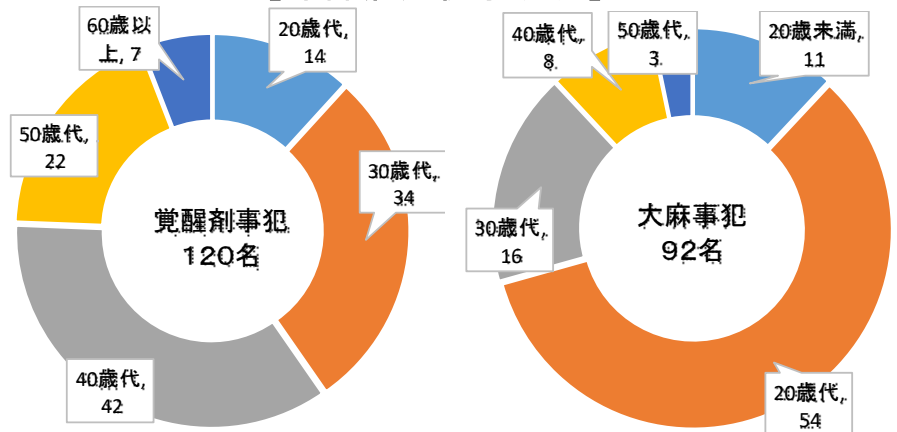
【罪名別検挙状況】

覚醒剤取締法違反	120人
大麻取締法違反	92人
その他	4人

【主な薬物押収量】

覚醒剤	約283g
乾燥大麻	約2,354g
大麻草	約390本
液体大麻	約122g

【年齢層別検挙状況】



- 薬物事犯の約5割が覚醒剤事犯で最も多く、次いで大麻事犯となっています。
- 覚醒剤事犯は40歳代が最も多く、30歳代と40歳代で全体の約6割を占めています。
- 大麻事犯は20歳代が最も多く、30歳未満が約7割を占めています。
- 液体大麻（通称：大麻リキッド）の検挙事犯が激増しており、押収量に至っては、令和2年（約4グラム）の約30倍となっています。

「1度だけ」という好奇心や遊びのつもりでも、薬物の依存症によって、自分の意思ではやめることができなくなります。

薬物の乱用はあなたとあなたの周りの社会をダメにします。

絶対に手を出してはいけません。